

大阪市立扇町産院改築工事

位置・大阪市北區北扇町75ノ1。

敷地面積・2,186.15平方メートル。

建築面積・(建坪)本館731.08平方メートル・附屬館170.10平方メートル、合計901.18平方メートル。

(延坪)本館3,624.12平方メートル、附屬館461.80平方メートル、合計4,085.96平方メートル。

建物高さ・(本館)1階地盤線よりバラベツト上端まで16.2メートル。塔屋上端まで19.2メートル、煙突上端まで24.4メートル。(附屬館)1階地盤線より軒桁上端まで8.0メートル。各階面積・高さ・空配置本館各階にわたりエレベータ、食物リフト、階段³、廊下、非常階段²がある。

〔地階〕663.6平方メートル、階高3.5メートル倉庫、藥品庫³、薬瓶庫、屍室、物置、便所、賣店、便丁室、豫備室、雜役室、患者浴室、職員浴室、汽罐室、石炭庫、洗濯及再製室、氷室、電氣室。

〔1階〕731.08平方メートル、階高3.85メートル、表玄関、同下足預所、廣間、事務室、宿直室、藥局、第1診察室、第2診察室、検尿室、患者便所、職員便所、手術室同準備室、同浴室、物置、レントゲン深部治療室、同寫眞室、同操作室、暗室、物理治療室、研究室、豫備室、産婆詰所、東側玄関、電話室。

〔2階〕789.67平方メートル、階高3.50メートル、醫局、院長室、職員食堂兼應接室、職員便所、物置、沐浴室、分娩室、炊事兼洗面所、産婆詰所、病室³。

〔3階〕687.73平方メートル、階高3.50メートル、病室¹⁷、同副室²、物置、沐浴室、分娩室、炊事兼洗面所、産婆詰所、便所、検尿室、乳兒及早生兒室。

〔4階〕687.73平方メートル、階高3.50メ

ートル、病室²⁰、同副室²、物置、沐浴室。分娩室、炊事兼洗面所、産婆詰所、便所、検尿室。

〔屋上〕64.26平方メートル、塔屋高3.00メートル、エレベータ機械室、物置、日光浴室物干場、其他。

〔附屬館〕各階に階段及廊下がある。地階は162平方メートル、階高3.50メートルで、賄室、一般食堂、物置、見學生室、²娛樂室があり、1階は170.1平方メートル、階高3.50メートルで、玄関、臺所、食堂、應接室、洗面所、便所、講堂があり、²階も同じく、寄宿室⁵、婦長室、物干場、非常階段等がある。

構造大要

様式・現代式

構造・本館は鐵筋コンクリート造¹階建、1部地階付。附屬館木造²階建、1部平家、1部鐵筋コンクリート造地階付。

基礎・外防水總床版式にして各柱脚を繫梁にて連絡する。

主體・本館は1部間仕切壁を除きすべて鐵筋コンクリート造にして耐震耐火構造、附屬館は地階鐵筋コンクリート造、1階及²階は木造である。

外装・本館白セメント入着色モルタル塗掻取仕上、窓臺、同見込壁、出隅、庇上端等は鍍押へ塗り、出入口廻りモザイクタイル貼り。附屬館地階は本館同様白セメント入着色モルタル塗掻取仕上、^{1,2}階は荒木下見板張防腐劑塗りである。

屋根・本館屋上は防水層を施し、セメントモルタル・プロツク貼り及鐵網入モルタル塗りで、附屬館は日本瓦及石綿盤葺である。

窓及出入口・窓は手術室の窓がステイルサツシュ²重窓、其他は木製引違ひ、扉は非常



(1) 大阪市立扇町産院全景。

口及汽罐室出入口が鋼製、其他は主として木製である。

室内仕上・天井は主として白セメント吹付、但し表玄関はラッカー吹付、電話室、4階病室、日光浴室 附屬館講堂等はテックス張、手術室、同準備室、レントゲン室、暗室は油性ペンキ塗、院長室、應接室兼食堂は水性ペンキ塗である。

壁は主としてプラスター塗、但し表玄関はモザイクタイル張、電話室、テックス張、暗室、レントゲン室、手術室、同準備室は油性ペンキ塗、院長室、應接室兼食堂、附屬館講堂は水性ペンキ塗。

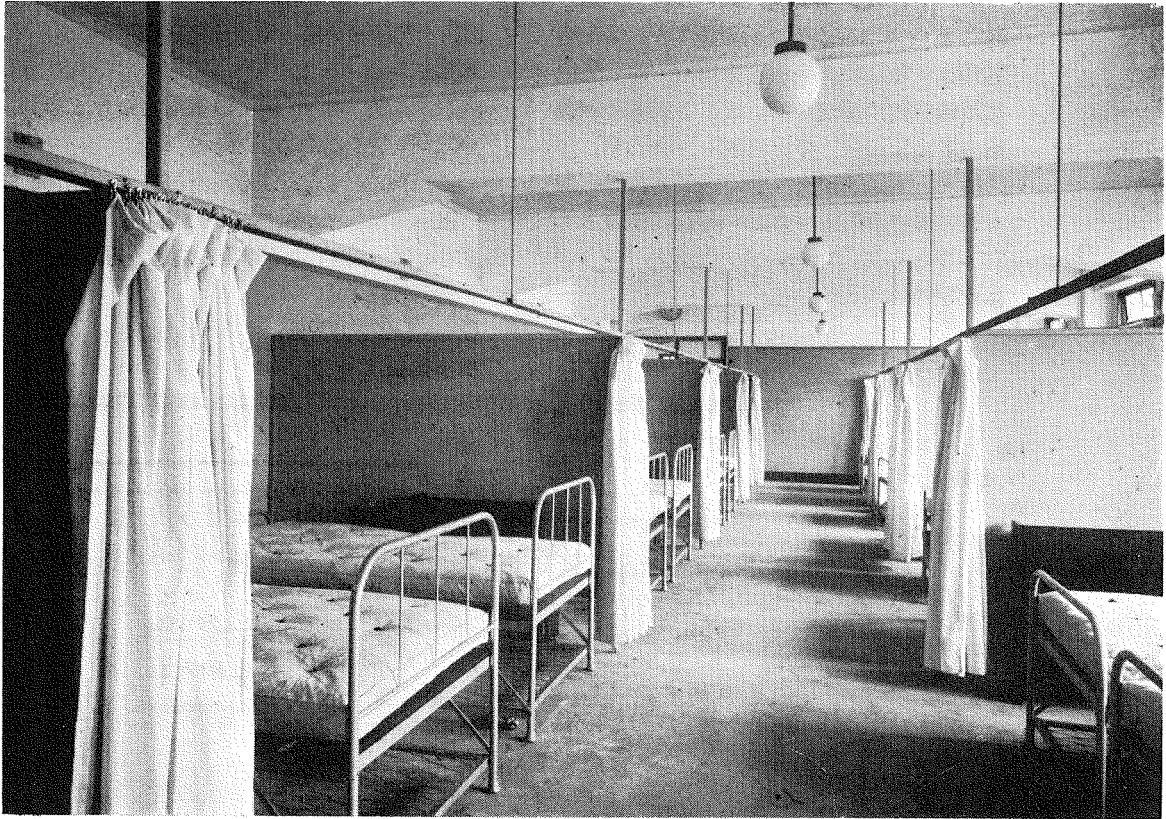
腰は手術室、同準備室、地階浴室、乳兒早生兒室はタイル張、藥局、分娩室、沐浴室 1階浴室、炊事兼洗面所、便所、階段等は

人造石研出し、各病室、醫局、事務室、産婆詰所、附屬館地階廊下、同食堂はペンキ塗特別病室は壁紙貼、院長室、應接兼食堂は高羽目張である。

床及巾木は各病室、産婆詰所、研究室、物理治療室、豫備室、レントゲン室、地階廊下等はリグノイド塗、各階廊下、階段、診療室、藥局、分娩室、沐浴室、洗面兼炊事場、各便所、浴室、附屬館食堂、同便所洗面所等は人造研出し、其他院長室、應接兼食堂、事務室、宿直室、附屬館講堂等は木造、附屬館娛樂室、宿直室、婦長室、見學生室は畳敷である。

設 備 大 要

煖房・汽罐はケワニー型 2 臺を備へ、病室は



(2) 2階無料産室の一部。

直空式蒸気暖房とし、各室には放熱器を適度に配置し、簡単なるバルブ操作により温度を調節し得る装置である。燃料は経費の軽減と煤煙防止のため粉炭を使用し、米花式コールセnderを使用す。

給水・2階以下は直接市水道管より3階以上は市水道管より屋上タンクに蓄へたる上各所に配給する。

給湯・汽罐室内に給湯用タンクを設置し、浴室、診察室、手術室、準備室、分娩室等に配給す。

消火・本館各階2個所に消火栓を設け、屋外は玄関外壁にサイヤミーズ・コネクションを設備し、ポンプを使用せずして屋外より送水し得る装置とした。

衛生・器具は東洋陶器製品を用ひ、便所手洗

は衛生カラン付、其他噴水、便検器等の設備あり。

各便所は水洗式とし各階よりの汚水は地階中庭に設けた浄化槽に流入する。浄化槽は第1、第2、第3腐敗槽、豫備濾過槽、沈澄槽、酸化槽、ポンプ槽及ポンプ室、消毒槽よりなり、炊事場洗濯場、其他地下室の汚水は浄化槽に隣接せる汚水溜に導き堅型ポンプに依り自動的に外部の下水へ放流す。

電気・大阪市電気局より供給を受け、地階に變壓室を設け動力用として15K.V.A. 變壓器2臺、電灯、レントゲン及電熱用として各20K.V.A. 變壓器1臺宛を設備し各階に送電する。また別に地階に蓄電池を置き電気時計、電話及信號用の電源に充てる。

電気時計は院長室に親時計を設備し、乾電

池によつて子時計44個を運轉する。また各電話は1階に交換臺を置き局線2本、院内電話機22個に接続する。また各病室より其階の看護婦詰所へ呼出信號を設備した。

昇降機・日本エレベータ製造株式会社製1基を設け寢台車のまゝ患者の昇降に便ならしむる事とした。尙別に食物運搬用リフト1基を設備した。

設計及監督・大阪市經理部營繕課

工事請負者・井上福藏

附帶設備施工者・(暖房給氣給水衛生工事)

大和工業株式会社(昇降機)日本エレベータ

製造株式会社(電氣室及照明器具設備)佐竹

甚三郎(院内電話設備)沖電氣株式会社。

工事期間・昭和9年7月28日起工、昭和10年9

月竣功した。

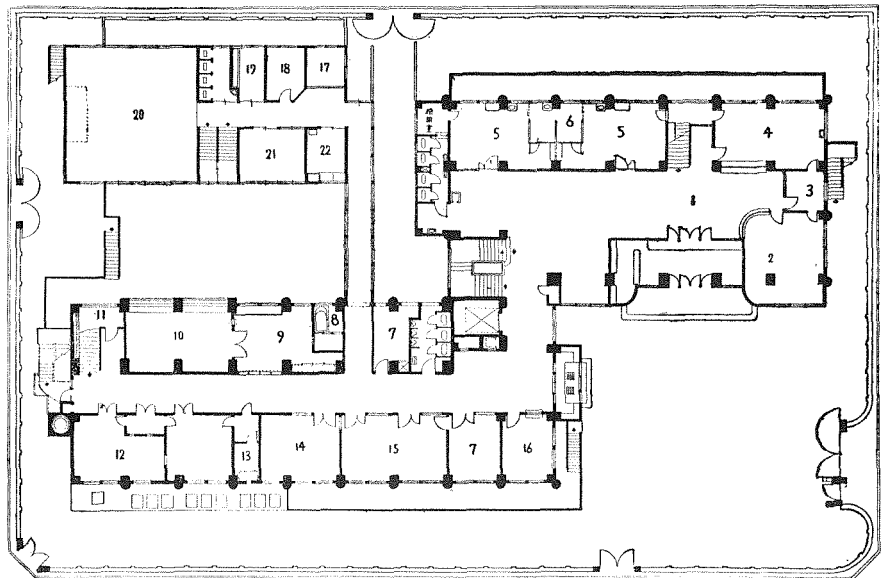
改築費・444,000圓。

收容定員・100人。

附 記

1階

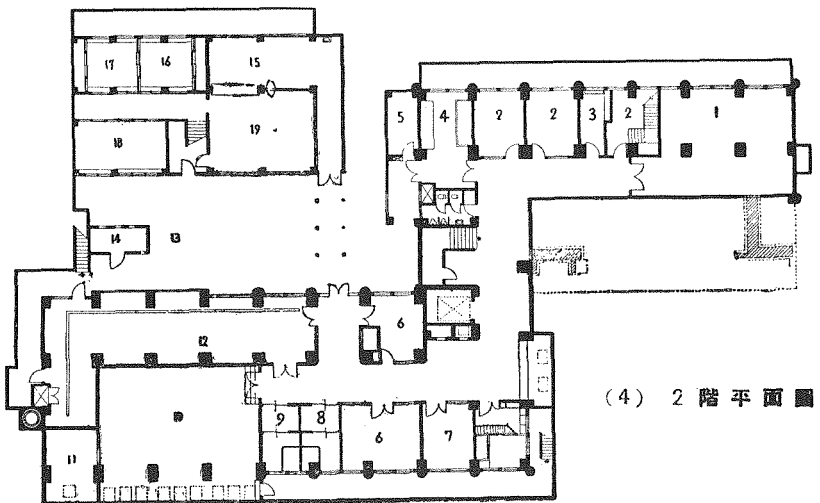
- (1) 廣間 (2) 事務室 (3) 宿直室 (4) 藥局 (5) 診察室 (6) 内診室 (7) 豫備室 (8) 浴室 (9) 準備室 (10) 手術室 (11) 物置 (12) レントゲン室 (13) 暗室 (14) 物理治療室 (15) 研究室 (16) 産婆詰所 (17) 支關 (18) 應接室 (19) 洗面所 (20) 講堂 (21) 食堂 (22) 臺所



(3) 1階平面圖

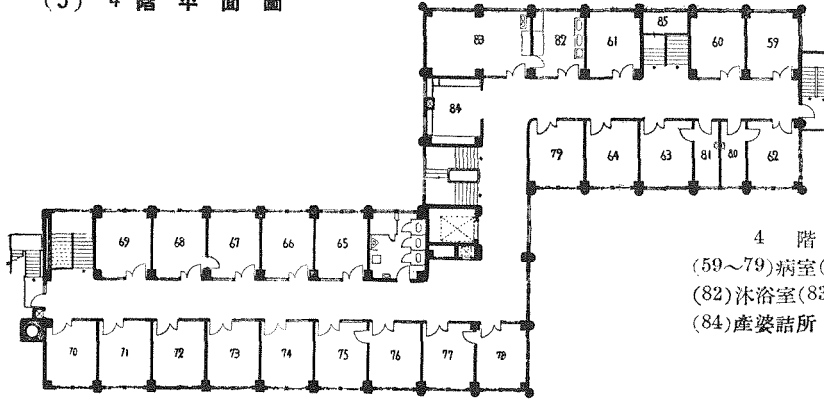
地階

- (1) 倉庫 (2) 藥品庫 (3) 藥瓶庫 (4) 屍室 (5) 物置 (6) 電氣室 (7) 雜役室 (8) 患者浴室 (9) 職員浴室 (10) 汽罐室 (11) 石炭庫 (12) 洗濯室 (13) 淨化槽 (14) ホンブ室 (15) 一般食堂 (16) 見學生室 (17) 同 (18) 娛樂室 (19) 賭室



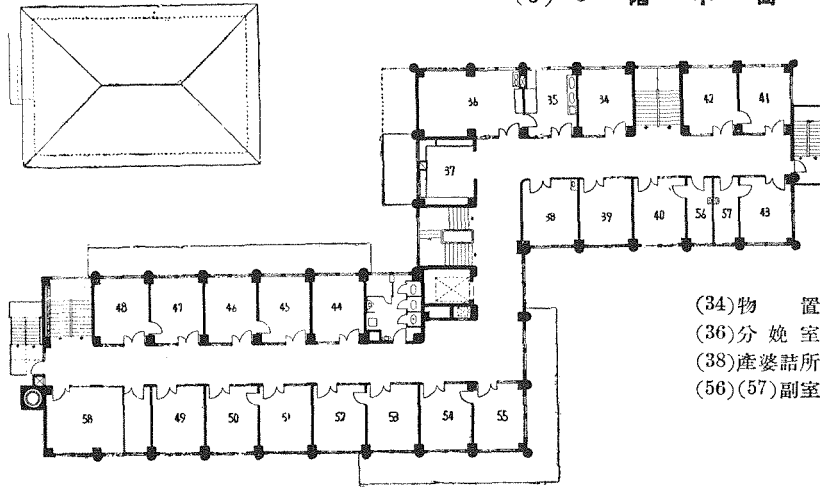
(4) 2階平面圖

(5) 4 階 平 面 圖



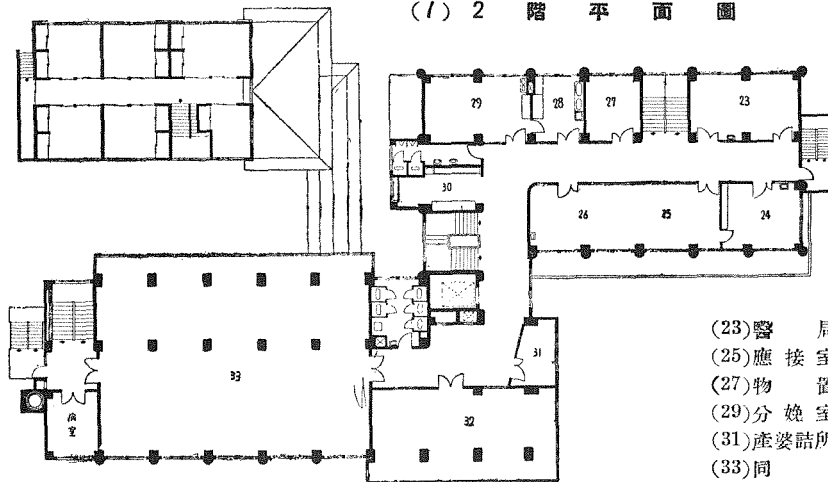
4 階
 (59~79)病室(80~81)副室
 (82)沐浴室(83)分娩室
 (84)產婆詰所

(6) 3 階 平 面 圖



3 階
 (34)物 置(35)沐浴室
 (36)分 娩 室(37)炊事兼洗面所
 (38)產婆詰所(39)~(55)病室
 (56)(57)副室(58)乳兒及早生兒室

(1) 2 階 平 面 圖



2 階
 (23)醫 局(24)院 長 室
 (25)應 接 室(26)職員食堂
 (27)物 置(28)沐浴室
 (29)分 娩 室(30)炊事兼洗面所
 (31)產婆詰所(32)來 室
 (33)同